

秋田から農業の未来を切り拓く！

～次世代農工連携拠点センター（仮称）構想のご紹介～

日本有数の規模を誇る
広大な附属農場を農工
連携による知の集積・
融合拠点として整備

“農学×工学”
“Real×Cyber Field”



未来の農業を担う人材
育成と農業イノベー
ションの創出を目指す



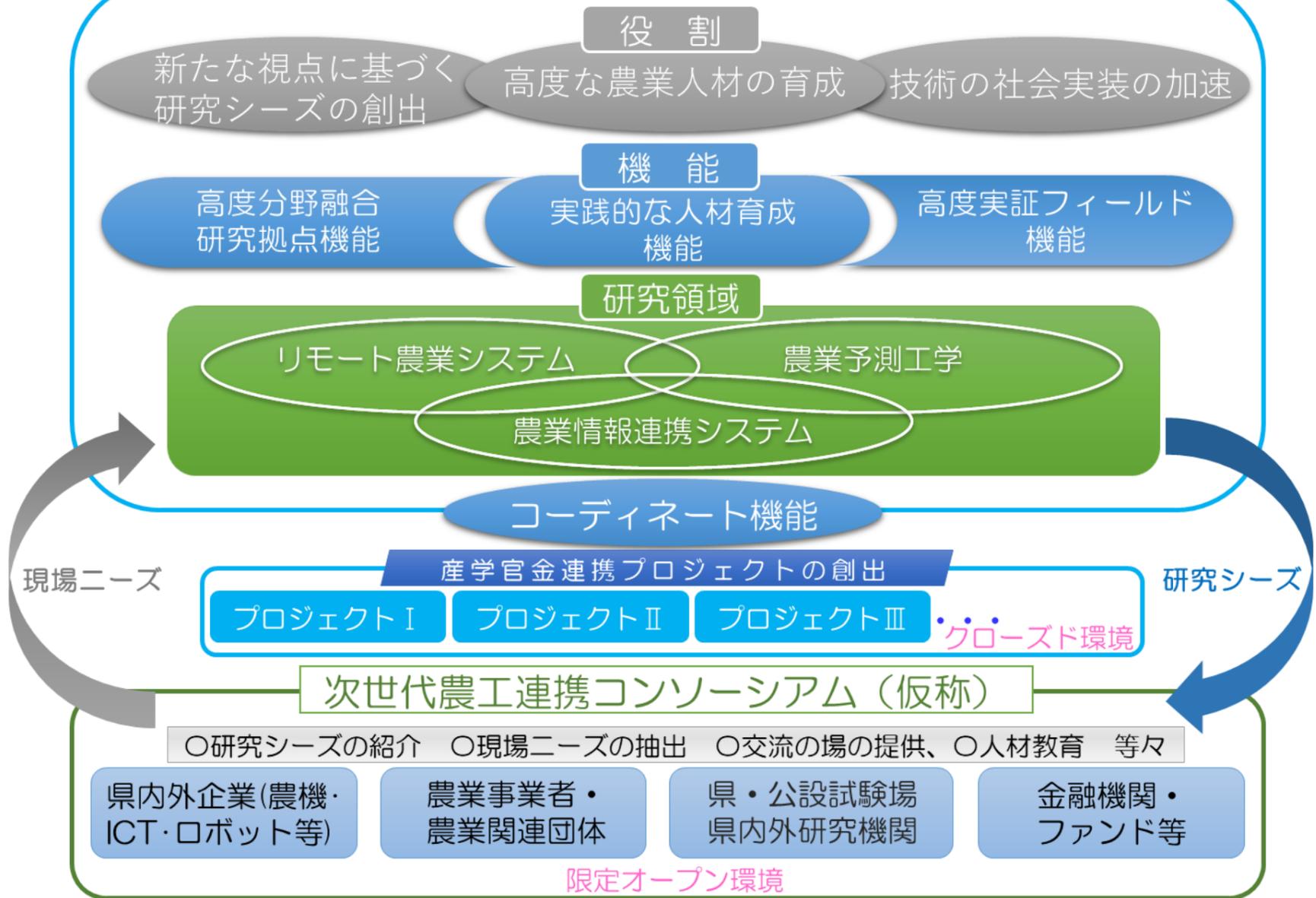
拠点センターのコンセプト



秋田県／日本農業の活性化に貢献
（世界で戦える超低コスト農業の確立、承継者・新規就農者にとって魅力
ある次世代農業の確立、など）

拠点センター概要

次世代農工連携拠点センター（仮称）



研究の柱

③ リモート農業システム

- 情報収集用小型ロボット
- VR技術を活用した遠隔モニタリングシステム
- 5Gを活用した農業機械の遠隔操縦
- IoTを活用した農業情報の効率的収集技術
- 新規就農・雇用者用営農支援ツール
- ドローン農業
- 「小型・並列・電動」をキーワードとしたロボット農機
- 異機種ロボット農機の自律分散協調制御



② 農業予測工学

- 豪雨等被害予測とモデリング
- 害虫発生予測
- 最適化や機械学習を活用した生育モデリング
- 近接画像を用いた生育モニタリングシステム
- 農産物の3次元モデル化による品質評価
- 栄養状態や肥料・水・光合成生産物の動態解析のためのセンシング
- AI（篤農家技術）による生産管理



① 農業情報連携システム

- 地域由来の農業基盤データ、ビッグデータの生成・収集
- 農業ビッグデータの解析手法（AI）、活用技術
- 生産から消費をつなぐ秋田版スマートフードチェーンの構築
- 秋田ブランドの6次産業化支援技術
- 新たな地域農業モデルの構築

